

身体活動・運動不足は死亡の3番目の危険因子

WHO（世界保健機関）では、疫学研究をふまえ、高血圧（13%）、喫煙（9%）、高血糖（6%）に次いで、身体不活動（6%）を全世界の死亡に対する危険因子の第4位としています。日本では、喫煙、高血圧に次いでNCD（非感染性疾患—心臓血管病、がん、糖尿病など）による死亡の3番目の危険因子であることが示唆されています。



井之川博幸市議

健康チャレンジ・ウォーキングポイント制度を提案 市民が楽しみながら運動し、健康な生活を送るために

井之川博幸議員は12月議会一般質問で、「健康で安心して暮らせる沼田市」をつくるために、市民の健康を増進していく施策の中心である「健康ぬまた21」における身体活動・運動部門の取り組みの改善と推進を求めました。

井之川議員は、まず「健康ぬまた21」の上位計画である「健康日本21」や「元気県ぐんま21」では、平成12年に策定された計画が、平成25年から改正された「健康増進法」に沿って、第二次計画として全面的に改定されることを示し、本市の計画もそれらの第二次計画を「ふまえた計画とします」と明記しているにもかかわらず、内容的には古いままであることを指摘し、新しい状況に合わせるよう要求しました。

市長は、「改善する」と答えました。

井之川議員はつづいて、運動する市民を増やすなどの目標を達成していくための今後の施策について質問し、市長は、「各種運動教室と連携し、健康相談はじめ、講演会、ウォーキング教室、料理教室など実施してきたので、今後も引き続き事業を推進し、市民の健康意識の向上に取り組んでいきたい」と答えました。

井之川議員は、上田市の「健康チャレンジポイント制度」や横浜市の「ジョギングポイント制度」を例に、ポイントをためると温泉入浴券やスポーツ施設利用券、商品券などがもらえる楽しみがある、このような制度を本市でも実施するよう求めました。

市長は、「検討していきたい」と答えました。

総選挙勝利に向け日本共産党演説会

解散総選挙での勝利にむけて12日、塩川てつや衆院議員、たなはしせつ子予定候補を迎え文化会館で演説会を開催。



スポーツを行う人の第1位が「ウォーキング」

ウォーキング環境の整備を

昨年の内閣府の調査で、日本でこの1年間スポーツを行なった人は77.2%で、そのうちウォーキングを行なった人が50.8%と最も多いという結果でした。「健康沼田21」においても「施策」として「ウォーキングマップなどを作成し、運動しやすい環境づくりを推進します。」と述べられており、つぎのような要求を市長にしました。

ウォーキングコースの整備と新コースの指定を

井之川議員は、現在ある16コースの路面の整備や、環状線外側歩道を含めた新コースの指定を求めました。市長は、「整備については、検討していく、新コースについては、安全が確認されたところから追加していきたい」と答えました。



十王公園コース
歩道もなく狭い

夜間利用者の多い環状線歩道の暗い部分に照明を

ウォーキングを夜間に実施する人の多い、環状線外側歩道の暗い部分に防犯灯など照明を設置してほしいという声があるので、配慮するよう求めました。市長は、「該当の町の区長さんから申請してもらったうえで、対応したい」と答えました。

井之川議員は、「利用者にとっては、暗くて危険なところの解消をしてほしいということなので、（防犯灯が設置できるところなのか）調査をして対応してほしいと、再度求めました。



環状線外側歩道、左側は農地で夜は真っ暗になる、右の建物は谷地端第2住宅

2016年12月18日 No.819

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料